

討
論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派の代表者などが賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

市長提出議案

○『介護保険条例の一部改正』

【自民清風会】

は、「平成21年度から23年度までの介護給付費準備基金及び介護従事者処遇改善臨時特例基金の取り崩しも盛り込まれている。65歳以上の人口や要介護認定者及び介護保険利用者の増加が見込まれる中で、介護保険の継続的かつ安定的な運営のためにも、今回の保険料の改定は適正であるものと理解する」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】

は、「保険料の所得段階を6段階から9段階に細分化することで、被保険者の負担能力に応じた保険料率の設定を行うものである。介護給付費準備基金を取り崩し、介護従事者処遇改善臨時特例交付金を基金として積み立て、第4期において全額を取り崩すことは、保険料負担の軽減が図られ評価できる」と意見を述べ、賛成した。

【公明党】

は、「保険料の設定で、

所得段階を6段階から9段階に広げることや保険料の軽減を図り、基金の取り崩しなどを行うことで保険料の大幅な上昇を抑えている。今後は、特定高齢者に加え、一般高齢者にも予防事業の重要性などを周知徹底されるよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】

は、「所得段階を6段階から9段階にすることで、中間層の保険料引き上げを若干抑えることができたが、本人非課税の保険料基準額を値上げするもので、この保険料は愛知県下で4番目、西三河では2番目に高くなっており、減免制度の見直しもなく市民の負担を増やすものである」とし、反対した。

○『平成21年度一般会計予算』

【自民清風会】

は、「市税等の減収が予算編成に大きな影響を与えたが、市民生活への影響を避け、積極的な予算編成の実施により『安心して暮らせるまちづくり予算』として、住みやすいまち日本一を目指し、さまざまな事業に取り組み予算となった。特に災害対策事業に対する確実な推進は市民生活の向上に寄与するものであり評価する」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】

は、「第6次総合計画第1期実施計画や新市建設計画の確実な推進と中長期的な財政の健全性にも充分留意し、住みやすいまち日本一を目指して防災防

火対策を始め安全安心の確保、福祉医療の充実、教育環境の充実など市民福祉の向上を目指した積極的な予算編成と理解する」と意見を述べ、賛成した。

【公明党】

は、「市税の大幅な減収の中、第6次総合計画に基づく重点施策の確実な推進と災害対策事業の推進を図るため、市民生活への影響を配慮した上で投資的経費や、経常的経費の削減を行い、更には財政調整基金や臨時財政対策債も活用し、選択と集中により収支の均衡も図られていることを評価する」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】

は、「法人市民税37億円の減収により歳出削減のために54項目の事業が中止や延期をされている。無駄を省いて市民の暮らしに影響することのない執行を求めるが、共済費について、11月の都市共済への移行で職員の負担が増し、不利益につながる」とし、反対した。

○『平成21年度病院事業会計予算』

【自民清風会】

は、「自治体病院を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、策定された市民病院改革プランによる経営の効率化を推進し、地域医療に欠かすことのできない基幹病院として、その使命を果たすべく健全で持続的な運営のための経営改善に努められたい」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】

は、「国の示す公立病院改革ガイドラインに従い、病院事業の健全経営を図るため改革プランが策定され、21年度はその実行の初年度である。依然として市民病院の経営状況は大変厳しい環境下ではあるが、職員一丸となって当病院の改革プランの遂行に努められたい」と意見を述べ、賛成した。

【公明党】

は、「20年度に策定された『市民病院改革プラン』に掲げる目標の達成に向け、病院経営改善への取り組みを進めるとともに、医師・看護師の確保や病診連携の強化と役割分担の明確化で、市民に信頼され期待される病院となるよう努められたい」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】

は、「看護師は実質10名の増加となり、努力されていると思うが、退職者も多いことから、働きがいのある職場環境や7対1看護を実現するためにも、医師や看護師の確保を早急に進めるべき」とし、反対した。



市民病院